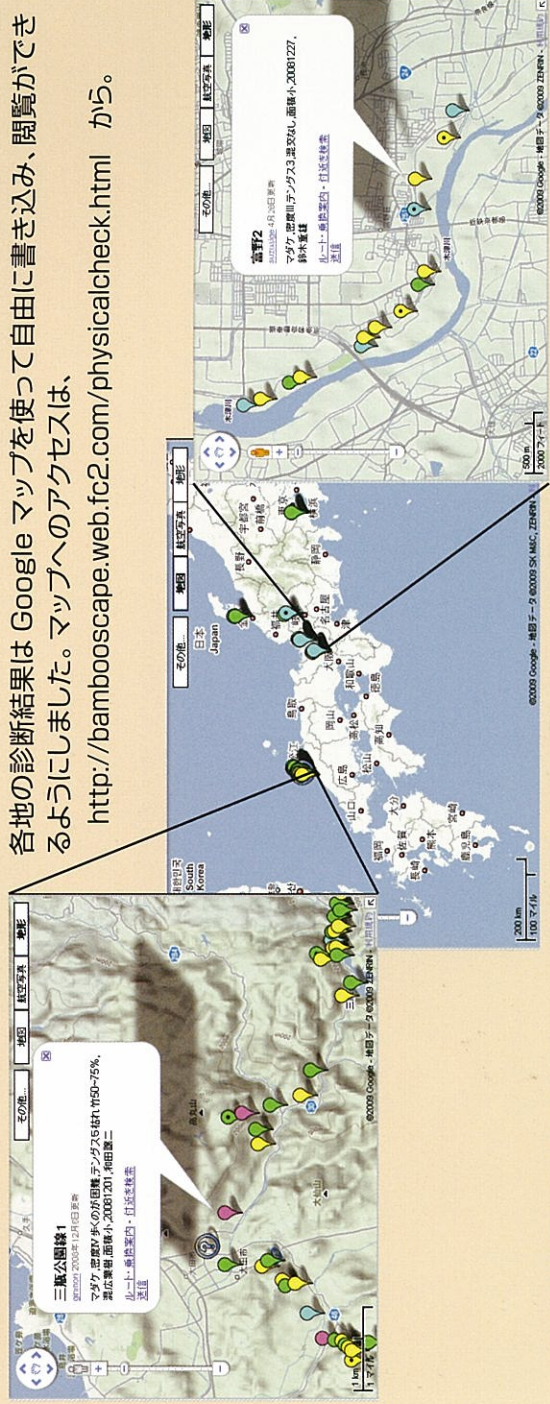


竹林の健康診断 途中経過

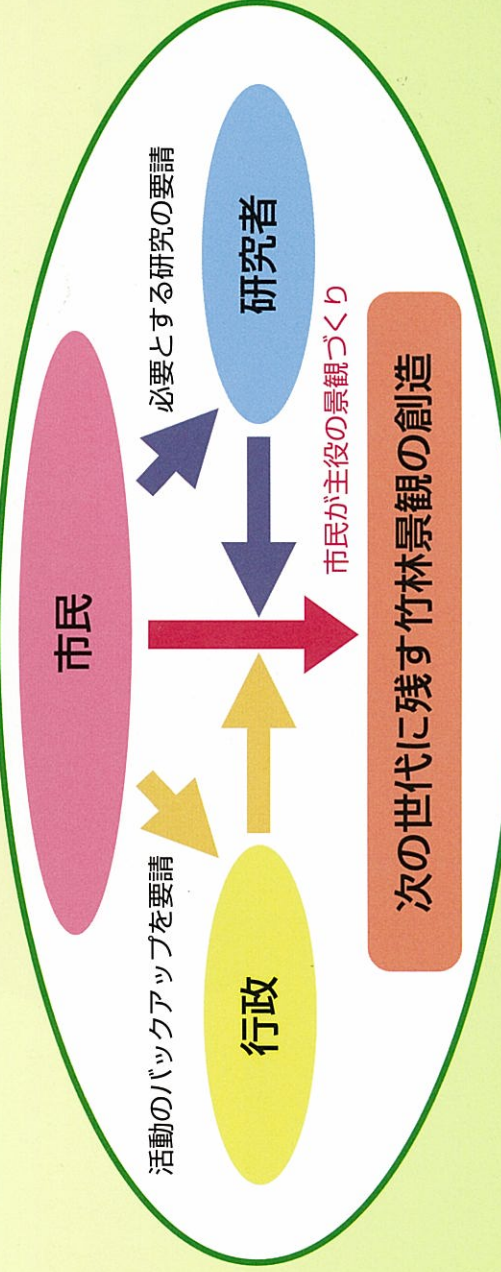
各地の診断結果は Google マップを使って自由に書き込み、閲覧ができるようにしました。マップへのアクセスは、
<http://bambooscape.web.fc2.com/physicalcheck.html> から。



★診断は誰でも簡単にできます。 調査参加者募集中 ginmori@hotmail.co.jp

竹林の健康診断から身近な**竹林の危機**を改めて知りましょう。
 そして

市民から始める**竹林景観の創造**へ。



そのつながりを作るのが

竹林景観ネットワーク

竹林景観ネットワークは、市民による新たな竹林景観の創造を手助けする様々な分野の研究者の交流と、現場で活動を実践している人々々々をつなぐネットワークです。竹林の健康診断をきっかけに、身近な竹林に目を向けて、そして日本の竹林のことを考えましょう。

2008 年度 全労済地域貢献献助成
 平成20年度 (財) 国際花と緑の博覧会記念協会助成事業

発行:NPO 法人 緑と水の連絡会議

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ376-1
 TEL:0854-82-2727 FAX:0854-84-0262
 E-mail:ohgreen@iwami.or.jp
 ホームページ:<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/>
 製作協力:竹林景観ネットワーク <http://bambooscape.web.fc2.com/>

竹林で何が起きているのかを知ろう! 竹林の健康診断マップ回覧から 竹林景観の創造へ



竹林の現状

日本中の竹林が荒廃しています。
 こんな竹林をこのまま放っておいて
 いいのでしょうか？



竹産業の衰退

安価な輸入品や代替品に押されて、たけのこも竹材も生産量が激減しています。

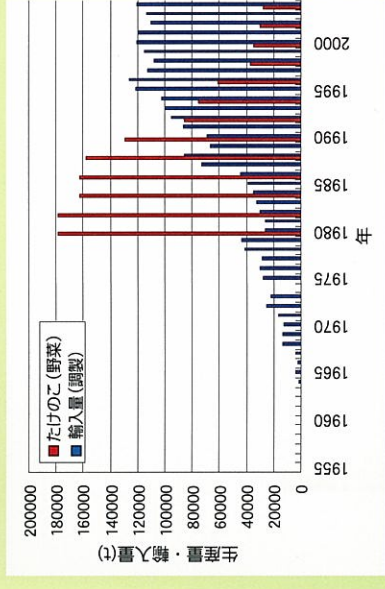


図1 たけのこの国内生産量と輸入量の推移
 (農林水産省生産局地域特産野菜の生産状況、財務省貿易統計より)

竹林の拡大

人の手が入らなくなった竹林からは、竹が周りの林や畑に広がっていきます。そのスピードは1年間に1mにもなります。これだけ速いスピードで、劇的に景観を変えていってしまう植物は他にありません。

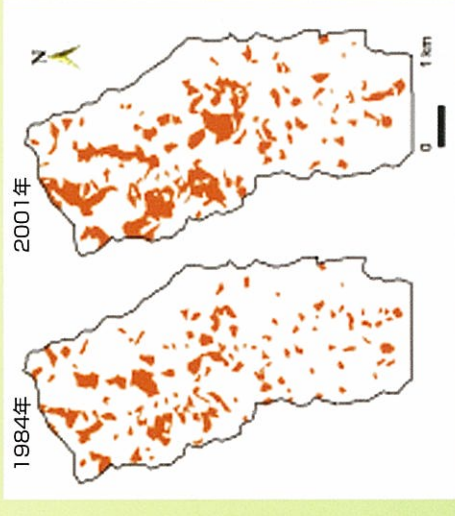


図2 千葉県大多喜町平沢集落における竹林分布の変化。1984年から2001年の17年間で約1.5倍の面積となった。



タケ類テングス病

麦角菌の一種によって引き起こされる竹の伝染病です。この病気がかかると正常な葉を出せなくなり、竹林は枯れてしまいます。枯れた竹は風や雪の重みで倒れてしまい、もはや人の足もふみこめない竹やぶになってしまいました。



伐採竹の有効活用

竹チップ舗装で遊歩道を整備

石見銀山竹の小径（緑と水の連絡会議）

世界遺産のコアゾーン「石見銀地区」でテングス病で枯れそうなるハチクク林を再生するため間伐しました。この竹をチップにして、観光客の利用する歩道に簡易舗装を施しました。方法は、真砂土に竹チップを 25%（容量比）混合して、土壌硬化剤の海水系酸化マグネシウムを混ぜてつき固め、水をまくというものです。これは、古来、石見銀山街道でも用いられた「版築法」という工法で、現在でも、アスファルト舗装とは違い産業廃棄物が生じない自然に優しい工法として注目を浴びています。作業は、学生ボランティアを中心に 4 日間のべ 23 人で、幅 1m 延長 200m の遊歩道を整備しました。【緑の募金助成事業】



▲▼只今、作業中



◀ 舗装が完成した小径

▼ 参加した国際ワークショップの学生たち



情報共有

身近な竹林をもっと知ろう!

竹林の健康診断プログラム（緑と水の連絡会議）

人の手が入らなくなった竹林は、新しい稈が次から次へと生えていき、あっという間に密生した竹やぶになってしまいます。そんな竹やぶで猛威を振るっているのが、タケ類テングス病です。拡大と時を同じくして、日本の竹林景観を乱しているこの病気が、身近な竹林にも迫っていることを知ってもらいたい!それが、竹林の健康診断プログラムのねらいです。

◀ 診断ガイドリーフレットの作成



▲ 滋賀県近江八幡市(2008年6月20日)と島根県大田市(2008年12月14日)で現地講習会を開催。多くの方に竹林の現状を知ってもらおう機会を設けました。

結果は裏のページへ⇒

さまざまな研究と竹林での実践をつなぐ人の輪

竹林景観ネットワーク

研究活動

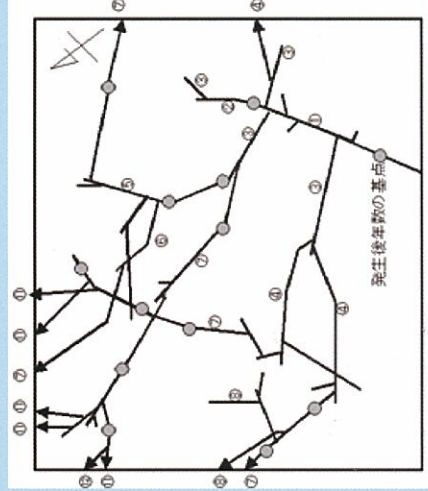
タケの地下茎はどのように成長するか?

河合洋人(岐阜大学流域圏科学研究中心)

急速に拡大する竹林の地下では、何が起きているのでしょうか?タケの地下茎がどのように成長するのか 100 m²で掘り取って調べてみました。すると、地下茎は網目状に広がっていて、場所によっては、一年間に 1.27mも伸びていることがわかりました。このことから計算をすると、100 m²が竹林になると平均 10 年くらい、早ければ 4 年しかかからないこともわかりました。



▲掘り上げた地下茎



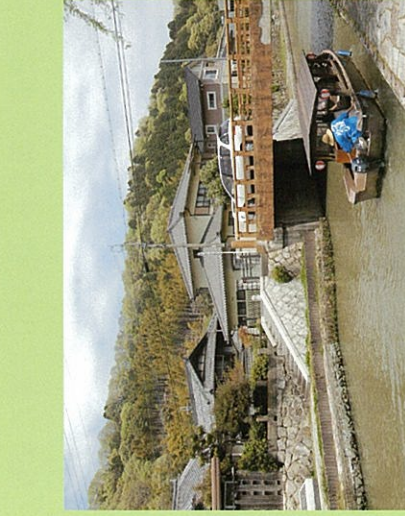
▲ 繋がった地下茎の広がり方

(矢印は調査範囲から外へ伸びていった地下茎を示しています。数字は基点からそこまで伸びるのにかかった年数を表しています。)

竹林景観保全活動

何もしなければ荒廃竹林→手をかけて整備すれば宝の山に変身 八幡山の景観を良くする会（滋賀県近江八幡市）

豊臣秀次の居城跡でもある近江八幡市のシンボル八幡山では、山裾で長年放置された荒廃竹林が山頂方面やコナラ林に拡大しています。そこで美しい里山景観を取り戻すために、2005 年 4 月から毎月 2 回のボランティアによる竹林景観保全活動を続けています。今では、美しい竹林となって、今年おこなわれた第 4 回親子タケノコ掘り大会には 40 組の親子が参加し、大好評です。竹林内ではシイタケ栽培も始めて、ボランティアで分けあったり、朽ちたホダ木はカブトムシやクワガタの住処にして子供たちにも親しみやすい竹林作りをしています。



▲ 観光客の目にも留まる八幡山の竹林



密集した竹林には日光が入らず、整備は枯竹の除去、間伐の順に進める。

▲ モウソウチクの間の間伐作業



▲ 竹林で大きく育ったシイタケ